

～都に鄙に、また山に～
郵便局を旅する地域活性マガジン

散歩人

SANPOJIN
9月号 vol.23

山上の城跡から見晴らす
歴史の面影
兵庫

局長さんご推薦！
お取り寄せの逸品 全国産品プレゼント
(京都・兵庫・大阪・奈良・和歌山)

わたしと手紙
野村克也さん

散歩人 SANPOJIN 9月号 (vol.23)

平成25年9月1日発行 発行/有限会社 コーテイ 〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル14F

定価: 250円 (本体: 239円)





contents

散歩人 | vol.23 | Sep. 2013

〈特集〉

2 山上の城跡から見晴らす歴史の面影 兵庫

雲海に包まれた、神秘の山城。

里山暮らしが体感できる古民家の宿。

自然と街、新しきと伝統が溶け合う兵庫の旅。

温泉、芝居小屋、スイーツまで、名所をぐるりとめぐりました。

10 わたしと手紙 野村克也さん

12 郵便局のあるまちをたずねて 兵庫県相生市、奈良県川上村、五條市、大淀町

局長さんご推薦!

16 お取り寄せの逸品 全国産品プレゼント(京都府・兵庫県・大阪府・奈良県・和歌山県)

19 座右宝 より素敵に生きるために 涌井 雅之さん

20 切手で訪ねるふるさとの旅

22 川柳「二匹目のどぜう」

24 読者のみなさんから/コラム「龍の鱗」

25 バンコク雑記帳/読者プレゼント

表紙:竹田城跡(兵庫県朝来市)

裏表紙:姫路城(兵庫県姫路市)

往時の威風をたたえて

日本のマチュピチュ 竹田城

標高353m、但馬の山々と清流・円山川が織りなす大パノラマ。東西約100m、南北約400mに臥す城跡が往時の威風を物語る竹田城。桜、新緑、雪景色と季節の移ろいで表情を変え、秋になれば、円山川から立ち上る霧によって雲海が広がり、城跡と町の空を分かちます。その様は「天空の城」とも言われます。

嘉吉3年(1443)、但馬の守護大名・山名宗全が築いた竹田城は、天平年間、豊臣秀吉の二度にわたる但馬攻めで落城。現存の遺構は、秀吉の命により普請されたものとされています。石垣に見る、縄張りの美しさも全国屈指のもので



撮影/吉田利栄

平成の大修理 姫路城

姫路城は現在、平成の大修理の真っ最中。天守の間近に行き、城郭建築の構造と修理の様子を見学できる施設「天空の白鷺」が設置されています。

ところ/兵庫県姫路市本町68番地
電話/079-287-2013(姫路城大天守修理見学施設「天空の白鷺」運営事務所)
交通/JRまたは山陽電鉄「姫路駅」より北へ徒歩約15分、または神姫バスで「姫路城・大手門前」まで約5分



天空の白鷺8階からの展望(大天守の大屋根(上)と、五重屋根の目地漆喰塗りをする職人さん(下右))
素屋根で覆われた大天守(解体完了は平成27年3月)。城郭建築の醍醐味を味わえる修理見学期間は平成26年1月15日まで(下左)



古城山の山頂にある竹田城跡。JR竹田駅の裏手から急斜を登るほか、中腹駐車場から山門をくぐり城跡へ上るゆるやかなハイキングコースも



城壁は自然石をその形のまま積み上げた穴太(あなう)積み。水はけがよく堅固で、姫路城も同じ構築法が見られる



出石



そば



二種の製粉をかけ合わせ、香りとのごしのどちらも追求した「二八そば」。創業時から受け継ぐかえしが、まろやかなダシの風味を引き締め、そばの旨さを際立た



地という言葉でもなされ、心ほどこけてつるとそばを流し込む。名人り絵馬と絵皿は、17皿以上食べた「通」の証。

てます。そばの皿に直接ダシをかけ、山芋や卵など薬味を変えながら食べるのがご当地流。温か

但馬文化の歴史薫る



さまざまな薬味とともに楽しむ皿そば。一人前の目安は女性5〜10、男性10〜15皿。一皿単位で注文できる。

永楽館

明治34年より歌舞伎、寄席、活動写真などが興行され、但馬の大衆文化の中心となった永楽館。廻り舞台、奈落、花道、すっぽんといった貴重な舞台機構が残る、現存する近畿最古の芝居小屋です。テレビの普及により、昭和39年に閉館。その後44年間は使用されることがありませんでした。やがて町の人々から永楽館の保存を願う声が上がります。大規模な修復工事を経て平成20年に再生。芝居小屋としての隆盛を極めた大正11年ごろの姿に復元されたのが現在の姿です。



ところ／兵庫県豊岡市出石町柳17-12
電話／0796-521-5300
営業時間／9:30〜17:00 入館は16:30まで。木曜、12/31、1休
交通／JR山陰本線「豊岡駅」江原駅「八鹿駅」より出石行きバスで約30分
料金／大人300円、学生200円、小学生以下無料（団体割引あり）
<http://www.eiraku-kan.com>



現在、歌舞伎、落語会、コンサートなど、さまざまな催しに使われている永楽館。写真は琴演奏の一幕



廻り舞台の機構を残す奈落。大きな水車の軸棒を用いて床を支えている



舞台には出石城二の丸の廃材がふだんに使われている。天井の竹格子は開館当時のまま



秀吉らの但馬征伐の後、江戸時代には石氏を中心とした城下町「出石」が発展します。城は山頂より山裾に移され、出石城と名がつきました。やがて出石焼をはじめとする伝統工芸が生まれ、特産である皿そばなどの文化が繁華を極めます。当時の区画を思わせる整然とした街路が美しく、人々は往時の文化を抱いて暮らしています。



席からは坪庭や出石の街並みを眺められる。地域ゆかりの工芸品やアート作品も風情を添えている

ところ／兵庫県豊岡市出石町小人14-16
電話／0796-521-2185
営業時間／11:00〜18:00 水曜休
料金／皿そば150円、薬味卵・山芋付き150円
交通／JR山陰本線「豊岡駅」江原駅「八鹿駅」より出石行きバスで約20分
<http://www.jinba.com/>



懐かしの岡持ちで皿そばを運ぶ店主の渋谷朋夫さん



豊かな緑をたたえた敷地。よい香りにつられ、童心に返ってショップをめぐる



5つのスイーツショップが点在

定番の小山チーズ。きめ細やかなスフレ生地の中に、デザートワインの風味がほのかに残る。1箱8個入、税込み1,260円

パティシエ エスコヤマ
緑があふれる敷地内にはケーキや焼き菓子、シヨコラ、パンなど5ブランドのショップが点在しています。食材や自然に思いをはせ、さまざまなエッセンスをスイーツに込めて創造された商品は800種以上。ロールケーキ、バウムクーヘンなど、エスコヤマの代名詞であるスイーツは、ベーシックながら飽きのこない味わい深さです。



村の人々が準備してくれる朝食。土鍋ご飯に、そば処「ろあん松田」のおぼんざい、集落で作ったみや豆腐を使った料理がずらり



穏やかで豊かなとき

丹波篠山の宿 集落丸山

里山に囲まれた小さな集落。わずか5世帯が暮らすその村に、二棟の宿があります。築150年を越す古民家をリノベーション。時を経た入母屋造の重厚さをそのままに、アンティークがセンス良く配備されています。そこに加わるのはじんわりと心温まるもてなし。部屋を整え、朝食の準備をしてくれるのは村の人々です。



「心のままにゆったり過ごしてほしい」と女将の佐古田純子さん

ところ／兵庫県篠山市丸山30番地(NPO集落丸山)
電話／079-552-5770
営業時間／火曜休
料金／1棟1泊、2食付きで1人23,000円～。最大5名利用可
交通／JR福知山線「篠山口」駅下車、車で北東へ9km。または、舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口IC」から北東へ8km
<http://maruyama-v.jp/>



江戸時代の造りを生かし、こざっぱりと整えられた、懐かしくも新鮮な和の空間



フランスの権威あるコンクールで2年連続最高位を獲得したショコラのアソート。[C.C.C.デギュスタシオン2011、2012]。税込み各1,500円



秋季(9/1～10/31)限定のバウムクーヘンは、「秋色マロン」。熊本県産の和栗をたっぷり練り込み、しっとり焼き上げられている。税込み1,575円

ところ／兵庫県三田市ゆりのき台5-1-32-1
電話／079-564-1319
営業時間／10:00～18:00、水曜休(祝日の場合は翌日)
交通／JR新三田駅から神姫バス「ゆりのき台郵便局前」下車すぐ
<http://www.es-koyama.com/>



ろあん松田



ところ／兵庫県篠山市丸山154番地
電話／079-552-1775
営業時間／昼食11:30～14:00、夕食18:00～(完全予約制。火曜休)
料金／そばひとりそろえ 昼食6,000円 夕食9,000円

夕食は集落内のそば処やフレンチレストランで。「ろあん松田」では、盛り・あらびきおろして食べる3種のそばと、近郊でとれる野菜を使った和食をコース仕立てにした「蕎麦ひとそろえ」を、澄んだ空気の中、香り高いそばを五感で味わうことができます。



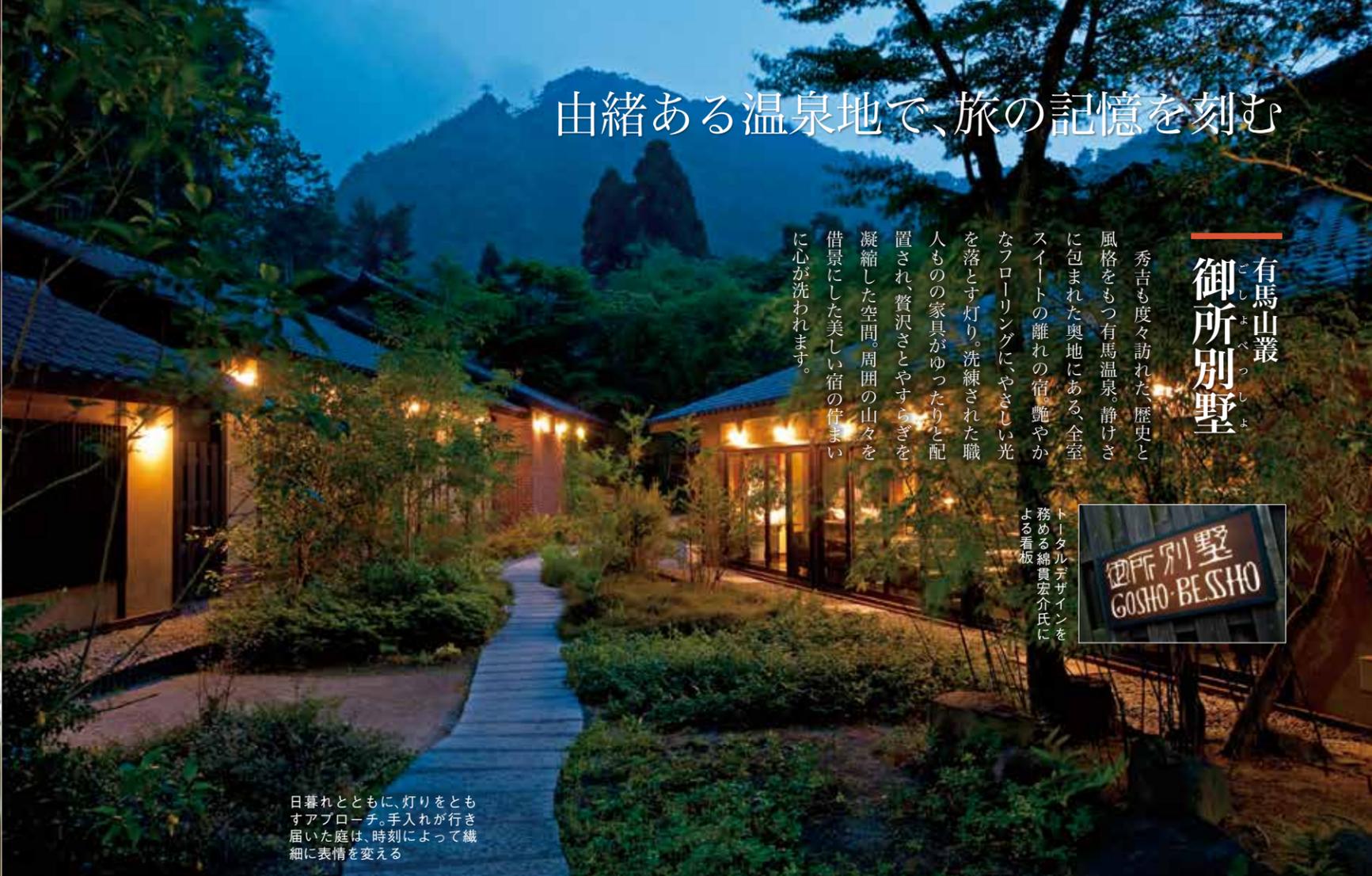
夕食は、季節の素材を生かしたフレンチのコース。この日のメイン料理は、キノコと豚足とトリュフが香るウズラのファルシー。ブルゴーニュのワインと合わせて



大きな窓から四季折々の景色を望むレストランのカウンター。秋は紅葉の大パノラマに。レストランのみの日帰り利用も可



淡路産由良の鮑、ウニ、アジと近郊の魚介のサラダ仕立て。トウモロコシのアイスクリームなど、野菜の甘みを生かしたトッピングも



由緒ある温泉地で、旅の記憶を刻む

有馬山叢 御所別墅

秀吉も度々訪れた、歴史と風格をもつ有馬温泉。静けさに包まれた奥地にある、全室スイートの離れの宿。艶やかなフロアリングに、やさしい光を落とす灯り。洗練された職人ものの家具がゆつたりと配置され、贅沢さとやすらぎを凝縮した空間。周囲の山々を借景にした美しい宿の佇まいに心が洗われます。

トータルデザインを務める綿貫安介氏による看板



日暮れとともに、灯りをともすアプローチ。手入れが行き届いた庭は、時刻によって繊細に表情を変える



アプローチから石畳を抜けるとある、離れのサマー・スイートルーム。全10室、100㎡の広々とした空間。全室に完備された「サマー・スイートルーム」は、体温と同じ37度を保ち、リラックス、免疫力アップに効果的



有馬の金泉。江戸時代の造りをイメージした温泉棟



重厚で落ちついた雰囲気のある客室。写真はVILLAタイプ



川沿いに建つ2階建てのメジネット。緑深く、マイナスイオンに包まれた空間

ところ / 兵庫県神戸市北区有馬町958
 電話 / 078-904-0554
 営業時間 / 予約受付8:00～22:00、ランチ12:00～12:30(LO)、ディナー17:30～19:00(LO)、予約制
 料金 / 2名1室利用時、1泊2食付き1名38,950円～(税・サービス料・入湯税込み)
 交通 / 神戸電鉄「有馬温泉駅」より徒歩約10分(送迎有/要連絡)。阪神高速「西宮山南IC」,「有馬IC」より車で約10分
<http://goshobessho.com/>